

山口県教育振興基本計画（2018年～2022年）
の策定について

第1章 本県教育をめぐる状況

1 教育を取り巻く社会状況の変化

(1) 人口減少・高齢化の進展

- ・ 本県総人口は減少傾向、今後30年間でさらに3割程度の減少見込あり
- ・ 65歳以上人口の割合が高い「超高齢化社会」に突入
- ・ 医療体制の充実、医学の進歩、生活水準の向上等により平均寿命は著しく伸長し、人生100年時代の到来が予測されている。
- ・ 本県の児童生徒数も減少傾向にあり、小・中学校は過去最低の数値

(2) 急速な技術革新とグローバル化の進展

- ・ 人工知能(AI)等技術革新の進展、超スマート社会の到来
- ・ ICTを主体的に使いこなす力、新たな価値を創造する力の重要性
- ・ グローバルな視点で地域社会に貢献する志をもった人材育成の重要性

(3) 地域や社会経済的な課題

- ・ 家庭の所得等社会経済的背景と大学進学率との相関
- ・ 東京一極集中が進み全人口の1/4以上が東京圏に集中
- ・ 大学進学率は都市部で高く地方で低い傾向、本県も全国平均を下回る

参考文献

中央教育審議会答申「第3期教育振興基本計画について」(中教審第206号)

2 子どもの状況

(1) 子どもの学力・学習の状況

- ・ 本県小・中学校の全国調査の平均正答率は、小学校は概ね全国平均と同程度、中学校は全区分で全国平均を上回る結果
- ・ 組織的な授業改善、家庭・地域との連携による確かな学力の育成が必要

(2) 子どもの生活の状況

- ・ 望ましい生活習慣の形成による健康・体力づくりの基礎を培う必要

(3) 子どもの体格・体力の状況

- ・ 小学校からの運動習慣定着、バランスのとれた体力向上に向けた取組

(4) 児童生徒の生徒指導上の諸課題の状況

- ・ 早期からの対策、「中1ギャップ」への対応が必要

(5) 高校卒業者の進学・就職の状況

- ・ きめ細かな進路指導、キャリア教育の充実が必要
- ・ 高校生の主体的な県内就職の促進、全県的なマッチングの必要性

(6) 「やまぐち型地域連携教育」推進による子どもたちの変容

- ・ 自己肯定(有用)感の高まり、ボランティア活動等への積極的参加等の成果が見られており、コミュニティ・スクールの取組充実が必要。

(7) 子どもたちと向き合う教員の長時間勤務の状況

- ・ 本県教員の1か月当たり平均時間外業務時間は40時間を超過

第2章 教育目標、目標達成に向けて

社会の変化が激しさを増し、複雑で予測困難となることが見込まれる難しい時代において、本県では「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」を基本目標として継承し、高い志をもち、多様な他者と協働しながら、主体的に未来を切り拓く、知・徳・体の調和のとれたたくましい人材を、県民総がかりにより育成します。

基本目標

～未来を拓く ^{ひら}たくましい「やまぐちっ子」の育成～

【目指す人材育成の方向性】

育成をめざす人材の方向性を「やまぐちっ子のすがた」として示します。

(やまぐちっ子のすがた)

- 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
- 知・徳・体の調和のとれた生きる力を身に付け、多様な人々と協働して力強く生きていく人
- 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

【基本目標実現の視点】

「3つの力」(学ぶ力、創る力、生き抜く力)「3つの心」(広い心、温かい心、燃える心)の育成

| | | |
|------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3つの力 | 学ぶ力 | 「生涯を通じ主体的に学び続ける力」 基礎的・基本的な知識・技能の習得や、自ら学びに向かう意欲や態度、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力などを育成します。 |
| | 創る力 | 「よりよい未来に向かって新たな価値を創り出す力」 課題を見つけ、将来を見通し解決する力や、科学的なものの見方、考え方、情報や技術を活用する力、豊かな想像力を育成します。 |
| | 生き抜く力 | 「自己を肯定し、責任感、勤勉な態度を有し、多様な他者と連携協働しながら困難を乗り越える行動力」 社会生活において不可欠な規範意識や倫理観、コミュニケーション能力とともに、自己肯定感や自己有用感、たくましく生き抜くために必要な健康や体力を育成します。 |

| | | |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3つの心 | 広い心 | 「互いの人格や価値観を受け入れ、尊重するとともに、互いに理解し協力しあう、前向きで広い心」 多様な考えや立場を理解し、尊重する態度や、他国の伝統や文化を理解、協調していく態度、郷土の伝統や文化を、 <u>地域や人との繋がりを通して</u> 尊重、継承する態度、また平和を愛する心や態度を育てていきます。 |
| | 温かい心 | 「人間への深い愛情、自然・生命に対する畏敬の念等を基盤とする、豊かで温かい心」 他者を思いやり、共感・感動する心や態度、社会に貢献しようとする態度、感謝する心や態度などを育てていきます。 |
| | 燃える心 | 「夢や理想の実現を目指す、不撓不屈の意思や勇気など、熱く燃える心」 未知なるものに進んで挑戦する態度や、困難に立ち向かい、それに打ち勝とうとする態度、また、新しいものを進んで取り入れようとする態度などを育てていきます。 |

※下線部は前計画からの改訂箇所

【これまでの取組の充実・発展を目指す施策展開に向けて】

時代の変化という「流行」の中で、未来を切り拓いていくための力の基礎は、学校教育における「不易」たるものの中で生まれる（中教審答申（新学習指導要領））との考えのもと教育目標は継承するものの、国の次期計画の状況や本県教育の新たな課題等を踏まえ、施策の充実を図る。

（ポイント）

○ 国の第3期教育振興基本計画の方向性（中教審答申）

21 の教育目標の一つに「⑥家庭・地域の教育力向上、学校との連携・協働の推進」が示された。

→ 平成32年には全ての公立学校に導入予定のコミュニティ・スクールを核とした地域連携教育の一層の充実を図る

○ 本県の子どもの状況における課題

学力・体力向上、いじめ・不登校等問題への対応など継続する課題について、この5年間の取組を踏まえた取組を着実に推進。

○ 教職員人材育成

優秀な教員の確保・育成や、新たに学校における働き方改革を推進

○ 教育を通じた地方創生の実現

喫緊の課題である人口減少問題にも資するよう、故郷に誇りと愛着をもち、地域の産業・社会を支える人材の育成による、教育を通じた「ふるさと山口」創生の実現を図る。

第3章 施策の展開

「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」「学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進」「生涯を通じた学びの充実」「豊かな学びを支える教育環境の充実」の4つの柱のもとに、計画的、総合的に施策を展開し、本県教育目標の実現を図ります。

教育目標： 未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成

知・徳・体の調和のとれた教育の推進

- ①キャリア教育の推進
- ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実
- ③グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成
- ④進路指導の充実
- ⑤読書活動の充実
- ⑥学校における人権教育の推進
- ⑦いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実
- ⑧体力向上の推進
- ⑨食育の推進
- ⑩健康教育の推進
- ⑪特別支援教育の推進
- ⑫幼児期における取組の充実
- ⑬少人数教育の推進

学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

- ⑭地域連携教育の充実
- ⑮家庭教育支援の充実
- ⑯社会教育施設等を活用した教育の充実

生涯を通じた学びの充実

- ⑰人生100年を見据えた生涯学習の推進
- ⑱地域社会における人権教育の推進
- ⑲地域とともにすすめる文化財の保存・活用
- ⑳文化にふれあい親しむ環境づくりの推進
- ㉑「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進

豊かな学びを支える教育環境の充実

- ㉒学校施設の整備・教育環境の向上
- ㉓学校安全の推進
- ㉔学校における働き方改革の推進
- ㉕教職員の資質能力の向上
- ㉖校種間連携・一貫教育の推進
- ㉗多用な学びのニーズに応える特色ある学校づくり
- ㉘私学の振興
- ㉙修学支援の充実

重点化

7つの緊急・重点プロジェクト

1 総合的・計画的な施策の推進

(1) 知・徳・体の調和のとれた教育の推進

[施策]

[主な取組]

1 キャリア教育の推進

・小・中・高連携によるキャリア教育の効果的な推進
 ・職場見学・体験、インターンシップ等体験活動の充実
 【指標】「1/2成人式」等を地域と行っている公立学校の数、体験的なキャリア教育に取り組んだ生徒の割合

2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実

・理数教育・伝統や文化に関する教育・体験活動
 ・道徳教育・外国語教育・教育の情報化・職業教育
 ・主権者教育
 ・「組織力」「授業力」「連携力」による確かな学力育成
 【指標】全国学力・学習状況調査正答率 ほか

3 グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成

・海外留学の促進・英語によるコミュニケーション能力の育成
 ・グローバルリーダーの育成・理数教育の充実(一部再掲)
 ・大学等での高度な学修の基盤となる学力育成(探究科)
 ・理数教育の充実(再掲)
 【指標】英検3級(中)、準2級(高)を達成した生徒割合(50%)、小中学生対象の科学教室への参加者数 ほか

4 進路指導の充実

・組織的、系統的・計画的な進路指導の推進
 ・進学支援の充実・就職支援の充実
 【指標】高校生等の就職決定率、県内就職比率 ほか

5 読書活動の推進

・学校・家庭や地域における読書活動の推進
 ・山口県こども読書支援センターによる支援の充実
 【指標】読書が好きと感じている児童生徒の割合

6 学校における人権教育の充実

・人権尊重の意識を高め一人ひとりを大切にする教育推進
 ・教職員研修の充実・人権に関する資料整備と活用促進
 【指標】人権教育に関するサテライト研修への講師派遣回数

7 いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実

・開発的生徒指導の充実
 ・未然防止、早期発見・対応に向けた組織的な取組充実
 ・学校・家庭・地域が連携した体制づくり
 ・相談・支援体制の充実
 ・緊急時等の学校への支援体制の充実
 【指標】いじめ解消率、千人あたり不登校児童生徒数 ほか

8 体力向上の推進

・体力向上に向けた組織的な取組推進
 ・指導方法の工夫改善による学校体育の充実(オリパラ、部活動指導員)
 ・家庭や地域と一体となった取組の推進
 【指標】「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」体力合計点

9 食育の推進

・学校・家庭・地域の連携による組織的・計画的な食育推進
 ・学校給食の充実
 ・栄養教諭・学校栄養教員の資質能力向上
 【指標】朝食を毎日食べる児童生徒の割合

10 健康教育の推進

・学校保健の計画的・組織的な取組推進
 ・現代的な健康課題の解決に向けた取組の充実
 【指標】肥満傾向児の出現率、12歳でむし歯のない人の割合

11 特別支援教育の推進

・特別支援学校、高等学校、小・中学校における取組充実
・早期からの切れ目ない支援体制の充実
・推進体制の充実
【指標】個別の教育支援計画(指導計画)作成率 ほか

12 幼児期における取組の充実

・幼児期の教育と小学校教育の連携促進
・子育て支援の推進と「地域協育ネット」の活用 等
【指標】「スタートカリキュラム」策定

13 少人数教育の推進

・小・中学校における効果的な少人数学級の実施
・少人数指導(複数教員の指導、学習集団の編成)の充実等
【指標】勉強が「好き」等である児童生徒の割合

(2)学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

14 地域連携教育の充実

○やまぐち型地域連携教育の推進
・人材の派遣・養成 ・ふるさとを愛する心の育成
・多様な人材の参画による地域ぐるみの活動推進
・放課後子ども教室の充実と放課後児童クラブの連携促進
【指標】「小・中を通じた学校・地域連携カリキュラム」策定数ほか

○コミュニティ・スクールを核とした地域連携教育の拡大・充実
(1)高等学校等の取組(テーマ型コミュニティ・スクールの推進)
・地域の活性化に直接貢献する高校ならではの取組推進
【指標】 地域と連携した課題解決に取り組んだ学校の数

(2)特別支援学校の取組(共生社会の実現をめざす地域とともにあるコミュニティ・スクールの充実)
・地域への障害に関する理解促進
【指標】近隣の小・中・高のCSと連携した取組の実施校数

15 家庭教育支援の充実

・意識啓発、情報提供の推進 ・保護者等へ学習機会提供
・地域や専門機関における相談・支援(体制)の充実
【指標】「やまぐち型家庭教育支援チーム」の設置率

16 社会教育施設等を活用した教育の充実

・学校と青少年教育施設・地域が連携した体験活動の充実
・県立図書館、博物館、文書館、埋文センターの取組充実
【指標】AFPYアドバイザーの活動回数 ほか

(3)生涯を通じた学びの充実

17 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

・生涯学習情報の提供体制充実
・多様な学習機会の提供、活用促進
・学習成果を生かす活動促進 ・人材育成
【指標】「かがやきネット」情報登録件数、社会教育主事有資格者養成数

18 地域社会における人権教育の推進

・地域社会における自主的な取組への支援
・人権教育指導者の養成 ・資料の整備・活用促進
【指標】地域における指導者の養成研修会の受講者数

19 地域とともにすすめる文化財の保存と活用

・文化財の地域一体での保存・活用
・世界遺産登録(錦帯橋)及び日本遺産認定の取組推進
【指標】地域計画等策定件数、文化財出前講座の実施校数

20 文化にふれあい親しむ環境づくりの推進

・学校現場への優れた芸術に触れる機会の提供
・文化活動の発表の機会の提供
・県立文化施設等との連携による企画展や講座等の充実
【指標】事業を通じ文化芸術鑑賞を行った児童生徒の割合

21 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進

・生涯スポーツの推進 ・競技水準の向上 ・人材の育成
・地域の活性化(「わがまちスポーツ」など)
【指標】県民のスポーツ実施率、国体総合成績、わがまちスポーツ参加者数

(4)豊かな学びを支える教育環境の充実

22 教育施設・設備の整備、教育環境の向上

・県立学校の整備 ・学校施設の防災機能の強化・充実
・市町立幼・小・中学校の耐震化促進
【指標】耐震化率(市町立幼・小・中)、長寿命化計画策定率

23 学校安全の推進

・学校教育全体を通じた「安全教育」の充実
・[安全管理][組織活動]の充実
・[防犯を含む生活安全][交通安全][災害安全(防災)]推進
【指標】事前通告無の避難訓練を実施する学校の割合

24 学校における働き方改革の推進

・業務の見直し・効率化 ・勤務体制等の改善
・学校支援人材の活用
【指標】教員1人当たり1か月平均時間外業務時間

25 教職員の資質能力の向上

○やまぐち型教員育成システムの構築
・教員の養成・採用・研修の一体改革
・教育に関する調査研究機能の強化 ほか
【指標】全国学力・学習状況調査正答率 他

26 校種間連携・一貫教育の推進

・校種間連携の推進(教育活動、教職員の連携)
・中高一貫教育のさらなる推進
【指標】教育課程に関する共通の取組を行った学校の数

27 多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり

・地域社会の教育力を活用した地域ぐるみの教育活動推進
・「県立高校再編整備計画」の着実な推進
【指標】学校説明会等への中学生1人当たり参加校数

28 私学の振興

・私学助成の充実 ・地域に開かれた幼稚園づくりへの支援
・私立学校の耐震化の促進
【指標】私立学校の耐震化率 ほか

29 修学支援の充実

・経済的理由により修学が困難な生徒・学生への支援
・離島高校生に対する支援
・へき地や過疎地域等の児童生徒等の通学に対する支援

2 緊急・重点プロジェクトの推進

平成32年度までに全公立学校に設置するコミュニティ・スクールを基盤とした「地域教育力日本一」の推進や、教育を通じた地方創生の実現、豊かな心の育成によるいじめ・不登校等対策の充実など、今後5年間で緊急・重点的に実施する「7つの緊急・重点プロジェクト」に取り組みます。

1 「地域教育力日本一」の推進

「やまぐち型地域連携教育」の推進により、関係機関や首長部局とも連携・協働した人づくり・地域づくりの推進や、県立高校等による地域課題の解決に資する取組の充実、企業・大学等との連携に取り組み、「地域教育力日本一」を目指します。

- 地域連携教育推進の核となる人材育成
- 県立学校へのコミュニティ・スクール導入
- 「交流及び共同学習」の促進(特支)
- 家庭教育支援活動の充実

2 教育を通じた「ふるさと山口」創生

故郷に誇りと愛着をもち、地域の産業・社会を支える人材の育成や、意欲と能力のある若者の県内定着の促進により、教育を通じた地方創生の実現をめざします。

- 高校生の県内就職、進学促進
- 産業人材の育成
- 故郷を愛する心の育成
- グローバル人材の育成
- 故郷の誇りとなる文化財等の保存・活用(錦帯橋の世界文化遺産登録の推進 等)

3 確かな学力育成

「やまぐち型地域連携教育」の仕組み等を生かした新しい時代に求められる資質・能力の育成を図ります。

- 「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域との連携力の強化」による確かな学力の育成
- 少人数教育の推進
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

4 豊かな心、健やかな体の育成

豊かな心を育み、たくましく生きるための健やかな体の育成を図ります。

- いじめ・不登校等対策の充実
- 道徳教育の推進
- 体力の向上、健康教育・食育の推進

5 魅力ある学校づくり推進

様々な入学動機や学習歴をもつ生徒の多様なニーズへの対応や、高等学校における「通級による指導」導入をはじめとした特別支援教育の充実など、多様な学びの期待に応える、魅力ある学校づくりを目指します。

- 「県立高校再編整備計画」の着実な推進(県央部、県西部多部制定時制高校の設置ほか)
- 「高等学校における通級による指導」導入、特別支援学校技能検定(きらめき検定)の充実
- 全公立学校(小・中・高等学校等、特別支援学校)へコミュニティ・スクール導入(H32 まで)

6 教職員人材育成

優秀な教員の確保・育成や、学校における働き方改革を推進し、子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の充実を図ります。

- やまぐち型教員育成システムの構築（高い志を持った教員志願者の養成、地域とともに「山口県の未来を拓く」現職教員の育成）
- 学校における働き方改革の推進（業務の見直し・効率化、勤務体制等の改善、学校支援人材の活用）

7 安心・安全な学校づくり

子どもたちが安全に、安心して教育が受けられるよう、「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」に対する実践的な学びの導入を進めるとともに、学校施設の耐震化や老朽化対策を推進します。

- 「第2次学校安全推進計画」に基づく実践的・実効的な「安全教育」の推進
- 学校施設の老朽化対策 ○学校施設の耐震化(市町立学校)

第4章 計画の着実な推進

1 市町教委、関係機関・関係団体等との連携

- 県民に対する計画の周知
- 国、市町、学校、家庭、地域などとの適切な役割分担による、計画の効果的な推進
- 学校、家庭、地域や関係機関とも連携を図り、県民総参加による本県らしい特色ある教育を推進

2 計画の進行管理

- 成果指標の設定
- PDCA サイクルによる点検・評価（外部意見の反映）
- 社会・経済情勢の大きな変化や、国制度改正等に対応する、計画の適宜、適切な見直しの実施

【参考】 今後の策定スケジュール

| 年 月 | 内 容 |
|---------|---------------------------------------------------|
| 平成30年7月 | 県議会文教警察委員会 【素案】 審議 パブリック・コメント（7月上旬～8月上旬(1か月間)） |
| 9月 | 県議会文教警察委員会 【最終案】 審議 策定・公表 |